

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年10月11日

【四半期会計期間】 第43期第3四半期(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

【会社名】 株式会社ジャステック

【英訳名】 JASTEC Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中 谷 昇

【本店の所在の場所】 東京都港区高輪三丁目5番23号

【電話番号】 03(3446)0295(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員 総務経理本部 本部長 柴 山 泰 生

【最寄りの連絡場所】 東京都港区高輪三丁目5番23号

【電話番号】 03(3446)0295(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 常務執行役員 総務経理本部 本部長 柴 山 泰 生

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第42期 第3四半期 連結累計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第42期
会計期間		自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日	自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日	自 平成23年12月1日 至 平成24年11月30日
売上高 (第3四半期連結会計期間)	(千円)	7,133,585 (2,281,399)	8,187,980 (2,767,880)	9,613,939
経常利益	(千円)	330,242	829,575	628,294
四半期(当期)純利益 (第3四半期連結会計期間)	(千円)	59,447 (18,815)	462,571 (141,861)	128,668
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	198,560	566,308	388,254
純資産額	(千円)	11,204,969	11,456,135	11,396,359
総資産額	(千円)	13,339,710	14,133,395	13,736,679
1株当たり四半期(当期) 純利益 (第3四半期連結会計期間)	(円)	3.45 (1.09)	26.84 (8.23)	7.47
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)		26.73	7.47
自己資本比率	(%)	83.7	80.7	82.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	69,086	409,322	668,532
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	458,308	1,440,642	321,913
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	461,340	461,052	575,380
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,411,730	5,441,808	4,031,568

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第42期第3四半期連結累計期間において、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社および当社の関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況および経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、欧州の政府債務問題および新興国の経済成長鈍化などに対する懸念が残るものの、昨年来の減速した状態から米国を中心に緩やかな回復傾向で推移しました。

わが国経済は、海外景気の下振れリスクが残るものの、政府主導による経済対策および金融政策への期待とその効果から輸出および個人消費の持ち直しの動きが見られ、自律的回復の兆しが見え始めました。しかしながら、先行きの不確実性への懸念から、企業の情報化投資の回復は、依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境下、当社グループは前連結会計年度に引き続き、市場動向に即応した分野からの受注獲得を目指し、企業が新たに取組む市場およびその関連成長分野ならびに受注拡大が見込めるITモダナイゼーション、金融機関の制度改訂および次世代高速通信に関するIT技術などの分野に注力した営業を展開した結果、連結売上高は前年同四半期を上回りました。

利益面においては、ソフトウェア開発事業における売上高の増加および社内開発分の原価率の改善などにより、連結営業利益は前年同四半期を上回る結果となりました。また、連結経常利益および連結四半期純利益は連結営業利益の増加に加え、投資有価証券売却益の計上などにより営業外収益が増加したことにより、いずれも前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高および連結利益は、次のとおりとなりました。

	金額 (百万円)	売上高比率 (%)	対前年同四半期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
連結売上高	8,187	100.0	1,054	14.8
連結営業利益	453	5.5	182	67.4
連結経常利益	829	10.1	499	151.2
連結四半期純利益	462	5.6	403	678.1

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績は、次のとおりとなりました。

報告セグメント		金額 (百万円)	売上高比率 (%)	対前年同四半期	
				増減額 (百万円)	増減率 (%)
ソフトウェア 開発事業	売上高	8,098	100.0	1,074	15.3
	セグメント利益 (営業利益)	659	8.1	211	47.3
システム 販売事業	売上高	89	100.0	20	18.6
	セグメント損失() (営業損失)	206	230.9	29	

(ソフトウェア開発事業)

金融・保険業向けの基幹業務案件、流通・サービス業向けの販売管理案件、情報・通信業向けのネットワーク管理案件および通信基盤案件などの売上増に伴い、売上高は前年同四半期より10億74百万円(15.3%)増加し、80億98百万円となりました。また、セグメント利益は売上高の増加に加え、社内開発分の原価率の改善などにより前年同四半期より2億11百万円(47.3%)増加し、6億59百万円となりました。

(システム販売事業)

当第3四半期連結累計期間は、類似画像検索技術関連ライセンス販売に注力しましたが、受注が計画を下回り、売上高は前年同四半期より20百万円(18.6%)減少し、89百万円となりました。また、セグメント損失は前年同四半期より損失が29百万円増加し、2億6百万円となりました。

なお、連結営業利益の前年同四半期との増減分析は以下のとおりであります。

	金額(百万円)	対売上高比率(%)
連結営業利益の対前年同四半期増減額	182	2.2
(増減分析)		
ソフトウェア開発による営業利益の増減額	211	2.6
売上高の変動による増減額	80	1.0
外注比率の変動による増減額	15	0.1
社内開発分の原価率の変動による増減額	53	0.7
外注分の原価率の変動による増減額	30	0.4
販売費及び一般管理費比率の変動による増減額	39	0.5
余剰要員の変動による増減額	72	0.9
システム販売による営業利益の増減額	29	0.4
合計	182	2.2

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度末より3億96百万円増加し、141億33百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末より22億31百万円増加し、97億34百万円となりました。これは主としてMMFおよび公社債などの取得により有価証券が増加したことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末より18億34百万円減少し、43億98百万円となりました。これは主として純投資目的の株式などの売却により投資有価証券が減少したことによるものです。

総負債は、前連結会計年度末より3億36百万円増加し、26億77百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末より3億2百万円増加し、17億66百万円となりました。これは主として増益により未払法人税等が増加したことによるものです。固定負債は、前連結会計年度末より33百万円増加し、9億10百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末より59百万円増加し、114億56百万円となりました。なお、自己資本比率は80.7%と前連結会計年度末より1.9ポイント減少いたしました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、14億10百万円の増加となり、前連結会計年度末の資金残高40億31百万円を受け、当第3四半期連結累計期間末の資金残高は54億41百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は4億9百万円の増加（前年同四半期比3億40百万円の増加）となりました。この増加は、税金等調整前四半期純利益などの資金増加要因が、未払賞与の減少および法人税等の支払などの資金減少要因を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は14億40百万円の増加（前年同四半期比18億98百万円の増加）となりました。この増加は、投資有価証券の売却および有価証券の満期償還などの資金増加要因が、有価証券および投資有価証券の取得ならびに保険積立金の積立などの資金減少要因を上回ったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は4億61百万円の減少（前年同四半期比0百万円の増加）となりました。この減少は、主として配当金の支払によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は33,911千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	18,287,000	18,287,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	18,287,000	18,287,000		

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日		18,287,000		2,238,688		2,118,332

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,050,700		
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,228,100	172,281	
単元未満株式	普通株式 8,200		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	18,287,000		
総株主の議決権		172,281	

(注) 「単元未満株式」欄の株式数には、当社所有の自己株式96株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ジャステック	東京都港区高輪三丁目5番23号	1,050,700		1,050,700	5.75
計		1,050,700		1,050,700	5.75

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第4項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

また、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,328,529	1,042,112
売掛金	975,280	1,059,213
有価証券	4,038,909	6,481,381
仕掛品	1,034,741	883,598
その他	131,392	272,094
貸倒引当金	5,486	3,960
流動資産合計	7,503,366	9,734,439
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	122,434	148,867
その他(純額)	53,030	48,754
有形固定資産合計	175,464	197,621
無形固定資産	265,534	246,283
投資その他の資産		
投資有価証券	3,686,072	1,365,705
繰延税金資産	408,322	343,316
敷金	221,194	222,942
保険積立金	1,336,098	1,795,368
その他	141,510	229,101
貸倒引当金	885	1,385
投資その他の資産合計	5,792,313	3,955,050
固定資産合計	6,233,313	4,398,956
資産合計	13,736,679	14,133,395
負債の部		
流動負債		
買掛金	224,170	209,645
短期借入金	-	99,000
リース債務	51,804	58,350
未払金	978,500	367,855
未払法人税等	123,379	422,368
プログラム保証引当金	23,486	26,162
賞与引当金	-	325,344
受注損失引当金	808	-
その他	61,576	257,953
流動負債合計	1,463,726	1,766,682

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
固定負債		
リース債務	71,497	91,430
退職給付引当金	169,541	162,536
役員退職慰労引当金	596,194	616,479
資産除去債務	37,788	38,355
その他	1,572	1,776
固定負債合計	876,593	910,578
負債合計	2,340,320	2,677,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,238,688	2,238,688
資本剰余金	2,118,332	2,118,332
利益剰余金	7,782,547	7,727,332
自己株式	652,108	644,689
株主資本合計	11,487,459	11,439,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,705	34,498
為替換算調整勘定	33,150	66,617
その他の包括利益累計額合計	135,855	32,118
新株予約権	44,755	48,590
純資産合計	11,396,359	11,456,135
負債純資産合計	13,736,679	14,133,395

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
売上高	7,133,585	8,187,980
売上原価	5,661,334	6,514,795
売上総利益	1,472,251	1,673,185
販売費及び一般管理費	1,201,479	1,219,944
営業利益	270,772	453,241
営業外収益		
受取利息	514	243
受取配当金	16,992	12,686
有価証券利息	35,521	36,583
保険配当金	16,178	16,936
投資有価証券売却益	-	305,528
雇用調整助成金	12,181	-
為替差益	-	88,193
その他	11,908	9,783
営業外収益合計	93,297	469,956
営業外費用		
支払利息	1,184	1,505
為替差損	11,664	-
投資有価証券売却損	7,572	84,752
投資有価証券投資損失	6,942	1,467
投資組合費	6,259	5,480
その他	203	417
営業外費用合計	33,827	93,622
経常利益	330,242	829,575
特別利益		
新株予約権戻入益	264	475
特別利益合計	264	475
特別損失		
固定資産除売却損	758	396
投資有価証券評価損	15,300	-
ゴルフ会員権評価損	-	4,638
特別損失合計	16,058	5,034
税金等調整前四半期純利益	314,447	825,015
法人税、住民税及び事業税	369,522	515,300
法人税等調整額	114,522	152,855
法人税等合計	254,999	362,444
少数株主損益調整前四半期純利益	59,447	462,571
四半期純利益	59,447	462,571

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
売上高	2,281,399	2,767,880
売上原価	1,810,979	2,184,602
売上総利益	470,419	583,277
販売費及び一般管理費	388,682	396,697
営業利益	81,737	186,579
営業外収益		
受取利息	120	127
受取配当金	15,245	11,210
有価証券利息	9,775	3,381
保険配当金	-	925
投資有価証券売却益	-	24,361
雇用調整助成金	1,292	-
為替差益	-	33,350
その他	2,611	4,812
営業外収益合計	29,045	78,169
営業外費用		
支払利息	474	592
為替差損	25,959	-
投資有価証券投資損失	1,086	-
投資組合費	2,978	2,430
その他	68	272
営業外費用合計	30,568	3,295
経常利益	80,214	261,453
特別損失		
固定資産除売却損	5	-
投資有価証券評価損	15,300	-
ゴルフ会員権評価損	-	4,638
特別損失合計	15,305	4,638
税金等調整前四半期純利益	64,908	256,815
法人税、住民税及び事業税	195,400	252,300
法人税等調整額	149,306	137,346
法人税等合計	46,093	114,953
少数株主損益調整前四半期純利益	18,815	141,861
四半期純利益	18,815	141,861

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,447	462,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,693	137,203
為替換算調整勘定	10,418	33,467
その他の包括利益合計	139,112	103,736
四半期包括利益	198,560	566,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,560	566,308
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,815	141,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,876	42,128
為替換算調整勘定	161	12,901
その他の包括利益合計	67,038	55,030
四半期包括利益	85,853	86,831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,853	86,831
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	314,447	825,015
減価償却費	106,554	133,603
株式報酬費用	4,877	5,130
貸倒引当金の増減額(は減少)	106	1,563
プログラム保証引当金の増減額(は減少)	2,550	2,676
受注損失引当金の増減額(は減少)	531	808
賞与引当金の増減額(は減少)	318,773	325,344
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,668	7,004
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	22,572	20,285
受取利息及び受取配当金	69,207	66,450
支払利息	1,184	1,505
固定資産除売却損益(は益)	758	396
投資有価証券売却損益(は益)	7,572	220,775
投資有価証券評価損益(は益)	15,300	-
ゴルフ会員権評価損	-	4,638
売上債権の増減額(は増加)	15,114	83,338
たな卸資産の増減額(は増加)	16,539	151,142
仕入債務の増減額(は減少)	15,660	15,620
未払賞与の増減額(は減少)	635,067	629,963
その他の資産の増減額(は増加)	10,946	39,807
その他の負債の増減額(は減少)	20,768	212,900
その他	22,173	86,369
小計	114,597	530,937
利息及び配当金の受取額	80,832	93,220
利息の支払額	1,482	3,338
法人税等の支払額	124,861	211,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,086	409,322

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	20,000	20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有価証券の取得による支出	709,884	806,182
有価証券の償還による収入	1,200,000	1,100,000
有形固定資産の取得による支出	16,954	5,276
無形固定資産の取得による支出	120,454	57,981
投資有価証券の取得による支出	706,687	603,632
投資有価証券の売却による収入	12,828	2,264,797
貸付けによる支出	600	13,400
貸付金の回収による収入	177	405
敷金の差入による支出	3,671	4,683
敷金の回収による収入	9,494	4,392
保険積立金の積立による支出	352,546	459,535
保険積立金の解約による収入	174,525	11
その他	55,464	21,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	458,308	1,440,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	460,000	460,000
短期借入金の返済による支出	361,000	361,000
自己株式の純増減額（は増加）	63	5,811
ファイナンス・リース債務の返済による支出	41,827	48,645
配当金の支払額	518,449	517,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	461,340	461,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,643	21,327
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	852,205	1,410,240
現金及び現金同等物の期首残高	4,263,935	4,031,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,411,730	5,441,808

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)
現金及び預金勘定	709,158千円	1,042,112千円
有価証券勘定	4,325,170千円	6,481,381千円
計	5,034,329千円	7,523,493千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	30,000千円	30,000千円
償還期間が3ヶ月を超える債券	1,592,599千円	2,051,684千円
現金及び現金同等物	3,411,730千円	5,441,808千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年2月23日 定時株主総会	普通株式	517,003	30	平成23年11月30日	平成24年2月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年2月21日 定時株主総会	普通株式	516,999	30	平成24年11月30日	平成25年2月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ソフトウェア 開発事業	システム 販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,023,899	109,686	7,133,585	7,133,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	7,023,899	109,686	7,133,585	7,133,585
セグメント利益 又はセグメント損失()	447,813	177,040	270,772	270,772

(注) 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との間に差異はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ソフトウェア 開発事業	システム 販売事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,098,679	89,301	8,187,980	8,187,980
セグメント間の内部売上高 又は振替高				
計	8,098,679	89,301	8,187,980	8,187,980
セグメント利益 又はセグメント損失()	659,475	206,234	453,241	453,241

(注) 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との間に差異はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年12月 1 日 至 平成24年 8 月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年12月 1 日 至 平成25年 8 月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	3.45円	26.84円
(算定上の基礎)		
四半期純利益	59,447千円	462,571千円
普通株主に帰属しない金額	千円	千円
普通株式に係る四半期純利益	59,447千円	462,571千円
普通株式の期中平均株式数	17,233,396株	17,236,170株
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	円	26.73円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額	千円	千円
普通株式増加数	株	72,207株

(注) 前第 3 四半期連結累計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月10日

株式会社ジャステック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯野健一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 飯塚 智 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ジャステックの平成24年12月1日から平成25年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年6月1日から平成25年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年12月1日から平成25年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ジャステック及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。